週　報（降誕節第１主日）No.2555　　主の年 2023 年 12 月 31 日

2023 年度年間標語「心熱く主を証しする」使徒言行録 2:42

『連盟第 69 回定期総会に向けて』②

吉田真司

議案2は「2022年度諸会計決算、並びに会計監査報告承認の件」です。

2022年度の協力伝道献金総額（11,648万円）は予算達成率が97.9%でした。収入合計は12,655万円で、支出合計13,189万円を下回り、その分繰越金から補う決算となりました。以下、会計監査（監事）の総合所見より引用します。「2019年度暮れからの新型コロナ感染症の拡大により、諸教会・伝道所の活動は大きく制限されてきました。2022年度は感染拡大が落ち着きつつ対面での活動が企画されていましたが、新たな感染拡大によってオンライン開催への変更やプログラムの変更を余儀なくされた活動もありました。そういう中で、協力伝道の業のための協力伝道献金が、予算比97.9%の11,650万円余り献げられました。まだまだ対面での礼拝や諸活動が制限された中で、諸教会・伝道所の皆さんがそれぞれの教会・伝道所の宣教の業を担うと同時に、連盟の働きを覚えておられた証しであることを感謝します。」

議案3は「2024年度活動方針、並びに活動計画の件」です。

活動方針は「加盟教会・伝道所が主体的に参与する協力伝道を目指して」です。具体的な取り組みは次の6点。①協力伝道献金推進～全加盟教会で担う協力伝道運動へ、②常設委員会による計画実施、③総会・選挙参与率目標83.3%（選挙制度評価と非参与教会へのアプローチを実施する）、④教役者退職金教会拠出率目標90%、⑤『バプテスト』誌の新たな展開（※1）、⑥中期計画（2023年度～2026年度）二年目の振り返りと課題の抽出、です。※1については4月からの新しい機関紙『バプテスト』（無料配布）への展開につき、議案7の部分で詳しく紹介します。また、2024年度は選挙（理事、監事、総会役員）の年、「これからの国外伝道」の新たな展開（国際宣教へ）への検討・取り組み（※2）、「伝道者養成アクションプラン・財務計画」（※3）の具体化の年となります。※2と※3に関しても、別途詳述いたします。そして夏には「全国ユースキャンプ」（これまでの「全国少年少女大会」に代わる全国規模の若年層の交わり）が、また2025年度開催を目指す「バプテスト大会」の企画を進める計画です。

→次号につづく

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前　９：００～１０：００（相模原礼拝）
		午前１０：４０～１２：００（会堂礼拝）
教会学校	日曜日	午前　９：３０～１０：２０
（嬰児、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス）		
祈り会	水曜日	午後　７：３０～９：００
金曜集会	金曜日	午前１０：３０～１２：００
家庭集会（相模原）	第二火曜日	午前１０：００～１２：００（竹村家）
（すずかけ台）	第三木曜日	午後　１：３０～３：００（長谷川家）

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間４－２４－６　TEL&FAX０４６（２７４）３７０８

牧師：吉田真司　音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子　協力牧師：斎藤剛毅

http://www.sccc.sakura.ne.jp